

非住宅木造建築に取り組む建築士の育成及び施主への理解醸成

現状

木材需要の拡大のためには、これまであまり木が使われてこなかった非住宅建築物の木造化・木質化をすることが重要
①非住宅建築物の木造化の事例が少ないため、非住宅木造建築物の設計ができる建築士が不足している
②木の良さ・国産材を使うことの意義などが正しく施主に理解されていない

①建築士育成の取組

★非住宅木造建築の設計に取り組む建築士の育成

高知県 <林業大学校>

非住宅木造建築の設計に必要な構造設計や木材の特性などを学び、設計スキルを身につけた技術者を養成。

(専攻課程: 木造設計コース、短期課程: 木造建築講座)

埼玉県 <埼玉県中大規模木造建築技術者講習>

岐阜県 <岐阜県木造建築マスター養成講座>

大分県 <大分県木造マスター育成研修> 等

非住宅木造建築の
設計への支援



②施主の理解拡大に向けて

<経済同友会の取組>

提言「地方創生に向けた“需要サイドからの”林業改革」

(平成30年3月22日 発表)

・企業自らが木の良さを理解し、木造建築を積極的に採用する

○シンポジウムの開催 (H30.10.22 東京都内)

○施主、デベロッパー向け連続講座の開催

(※林野庁委託事業とタイアップ)



日本の中高層ビルを木造に!

全国知事会国産木材活用PT

リーダー: 東京都知事 副リーダー: 高知県知事

公需

ボトルネックの洗い出しと課題解決

①建築士の育成

- ・先進及び優良事例から技術やノウハウを習得
- ・専門家によるアドバイスなど

②公共の施主の理解拡大

- ・首長をはじめ全庁的な取組体制づくり
- ・木のメリットなどへの理解醸成など

技術・
ノウハウ
の普及

民需

②民間の施主の理解拡大

- ・木造建築に対する理解度の向上
- ・木造建築のインセンティブの検討など



取り組みを加速化!

政策提言

平成31年度概算要求
予算の確保

提言1: 非住宅木造建築物の設計ができる建築士を育成するための支援を強化すること

- ・建築関係団体などによる全国規模での建築士のリカレント教育への支援
- ・各自治体における木造建築の連続講座等への支援
- ・非住宅木造建築物の整備推進と事例で培った技術・ノウハウを蓄積し、建築士等への普及や技術支援

提言2: 木の良さや木を使うことの意義など施主の理解醸成に向けた取り組みに対する支援を強化すること

- ・民間企業や国民を対象としたフォーラム及び連続セミナーの開催などへの支援

公共需要の
推進から
民間需要への
拡大